

安城市内景況調査結果 (平成28年7月～9月)

< 来期は今期以上に厳しい状態が続いていく見通し >

1. 調査対象 対象企業数 会議所役員・会員事業所 121企業

2. 調査対象時期 平成28年7～9月期

(1)前年同期(平成27年7～9月)と比べた今期の状況

(2)今期と比べた来期(平成28年10～12月)の先行き見通し

3. 企業数内訳































	製造業	小売・卸業	建設業	サービス業	計
企業数	25	35	19	42	121
構成比	20.7%	28.9%	15.7%	34.7%	100.0%

安城市内の今期の業況判断DIを詳しく見ると下記の表のとおり、△3.3ポイントとなった。業況判断の前回実績(△0.1)と比較すると3.2ポイントの下降、悪化の傾向が見られた。来期については今期以上に厳しい状態が予測される。特に売上高、収益状況は大幅な下降となる見通しである。

	前年同期比 (前回)	前年同期比 (今回)	来期の 見通し
業況判断	△0.1	△3.3	△20.7
売上高	△2.7	△6.6	△20.7
売上単価	△6.7	△17.4	△19.0
資金繰り	△1.3	△8.4	△10.7
借入難度	16.0	6.6	△0.8
収益状況	△10.7	△3.4	△22.2
雇用人員	△24.1	△31.3	△29.7

凡例▶

30以上  10を超える  10～△10  △10を超える  △30以上 

		全 産 業									
		製 造 業		小 売 ・ 卸 業		建 設 業		サ ー ビ ス 業			
前 年 同 期 対 比	業 況 判 断	△3.3		0.0		△34.2		15.8		11.9	
	売 上 高	△6.6		△8.0		△37.1		22.1		7.2	
	売 上 単 価	△17.4		△12.0		△37.1		△5.3		△9.5	
	資 金 繰 り	△8.4		△4.0		△22.8		21.0		△11.8	
	借 入 難 度	6.6		4.0		△2.8		31.6		4.7	
	収 益 状 況	△3.4		△8.0		△17.2		26.3		△2.3	
	雇 用 人 員	△31.3		△28.0		△11.4		△57.9		△38.0	
来 期 の 見 通 し	業 況 判 断	△20.7		△24.0		△28.5		0.0		△21.5	
	売 上 高	△20.7		△32.0		△25.7		0.0		△19.1	
	売 上 単 価	△19.0		△20.0		△25.7		△21.1		△11.8	
	資 金 繰 り	△10.7		△16.0		△25.7		5.3		△2.3	
	借 入 難 度	△0.8		△12.0		△5.6		5.2		7.1	
	収 益 状 況	△22.2		△20.0		△34.3		△15.7		△16.6	
	雇 用 人 員	△29.7		△28.0		△11.4		△47.4		△27.0	

※DIとは、「ディフュージョン・インデックス」(景気動向指数)の略で、各調査項目について「増加」(好転、やや好転)した企業割合から、「減少」(やや悪化、悪化)した企業割合を差し引いた値である。例えば、売上で「増加」25%、「不変」60%、「減少」15%の場合のDIは、25-15=10となる。

今後も、四半期ごとに景況調査を実施いたしますので、ご協力の程よろしくお願いたします。
なお、詳しい指標は、当所ホームページの「景況調査」のページをご覧ください。